株式会社富士通長野システムエンジニアリング

当社のポイント

長野県の富士通グループ企業として、長野県のIT化に貢献し全国展開を目指す！

当社は長野県および全国のお客様へITソリューションを提供しています。長野県内に向けては自治体や病院、流通、製造といった幅広い業界のお客様向けのシステム構築を行っています。長野県はモノづくりが盛んな地域であり、また過疎や高齢化対策に力を入れていますので、製造業向けPLMシステムや地域医療連携システムなど、数多くの当社システムが役立っています。

また全国展開の足がかりとして、首都圏向けビジネスを活性化させています。東京都文京区や大宮、幕張など首都圏各地にオフィスを構え、当社の特化技術をお客様に提供しています。WEBメールを中心とする当社のメールシステムは、その機能性と信頼性の高さから、すでに日本各地のお客様へ利用され高い評価を得ています。

本社社内

採用のポイント

SEは人と向き合う仕事。仲間やお客様と一緒に仕事をしていくコミュニケーション力が重要。

SEは、パソコンなどコンピュータ相手の仕事ではありません。仲間と一緒に協力して、お客様の要望をITシステムで実現していく仕事だから、むしろ「人と向き合う仕事」と言えます。システムは完成するまでカタチが見えないため、お客様の要望を正確に読み取る必要があります。そのためお客様が満足するシステムを作り上げるためには、コミュニケーション力が何よりも重要です。お客様に対し、ITの専門家であるSEがアドバイスを差し上げることで、お客様の仕事が効率的になり業績アップに貢献できるのです。システム構築は1年以上かかるプロジェクトも多く、長期間お客様と向き合い信頼関係を築いていく仕事だから、当社のSEとして、人間性豊かな人を求めています。

SEはプログラム言語などのIT知識が必要ですが、それらは入社後に学ぶことができます。仮に学生時代にプログラミングを経験していなくてもSEになれるのでご安心ください。

総務部（採用担当）
安藤　賢治 さん

取材メモ

「研究・開発」職ならではの、魅力。

「自分の作ったシステムが、世の中で活用されていく」。そうした喜びは、作った本人にしかわからないことかもしれないけれど、研究・開発職でしか味わえないやりがいであり、研究・開発職の魅力なのだと感じました。（半田　拓実）

<参加者>
半田　拓実
伊波　早穂
小原　唯
萩原　徹
三川　和優

COMPANY DATA

事業内容：IT技術を活用し、お客様、地域社会が快適で安心できるネットワーク社会作りに貢献するサービス創出。
設立：1984（昭和59）年
代表者：代表取締役社長　平松敏朗
資本金：2億円
売上高：100億円（2010年3月期）
従業員数：488名（2010年7月現在）
事業所：長野市・松本市・東京都文京区・さいたま市・千葉市ほか

■問合わせ先
〒380-0813 長野市鶴賀緑町1415 大通りセンタービル7F
総務部（採用担当）／安藤、山崎
TEL.026-234-1991（平日9:00～17:30）
E-mail : fns-recruit@cs.jp.fujitsu.com
URL : http://jp.fujitsu.com/fns/

INTERVIEW

ソフト開発系

塩入　裕太さん

しおいり　ゆうた

ネットワークサービス部
工学部 情報工学科卒

どういった仕事をしているか、教えてください。

大学等の研究機関と共同で、ソフトウェアを研究・開発する仕事をしています。

現在、取り組んでいる研究は「ジグビー」という無線通信技術です。ジグビーは低速で近距離に特化した無線通信技術ですが、低コストで低消費電力という特徴を持っています。主に家電製品を無線で遠隔制御するのに適しており、他にもさまざまな分野での応用が期待されています。当社では、このジグビーを室内に配置してセンサネットワークを作り、そこから室内の温度や湿度、照度などの情報を収集するといった、未来の活用方法を研究しています。

今の仕事に必要とされる能力は何ですか？

今までに無いものを新たに作り出す仕事なので、「こんなことがやりたい！」という発想力が何よりも重要です。「0から1」を作るということは、同じ1を増やすことでも「1から2」とは大違いです。

また、調査力や応用力も必要となります。なぜなら、研究では使用する素材の性質を調べ、新たな使用方法を模索していくからです。こうした研究調査も自分の仕事なので、会社に入ったものの、実は大学の研究室に逆戻りしたような仕事をやっています。

仕事でやりがいを感じるのは、どんなときですか？

プログラムを組んでもうまく動かないときがありますが、そんなときは、自分で原因を考え、狙いを絞ってプログラムを修正します。その狙いがピッタリ当たり、パッと正常に動いてくれたときは、正直すごく嬉しいです。知識と経験に裏付けされた勘が役立つ瞬間です。

また仕事では、大学の教授や研究者と一緒に研究をしていきます。そうした専門家の方々と接することで、新しい知識や違った考え方を学ぶことができるので、今の仕事にとてもやりがいを感じています。

今後の目標について、詳しく教えてください。

自分が苦労して研究開発したソフトウェアも、研究段階止まりで製品として市場に出ないこともあります。今後の目標は、独自の新しい技術を研究・開発し、世界中の人々に使われるような製品を生み出すことです。その実現に向け、日々、研究に励んでいます。

これまでのキャリア

平成21年4月入社
入社して約1年、業務を経験したところ

ミニアンケート

オフの過ごし方	学生時代から続けている野球。基本的には休日はノンビリ過ごす。
大切にしている言葉	継続は力なり。何事も粘り強くやれば結果はついてくる。
学生時代の思い出	卒業研究に明け暮れた日々。あの忙しさも今は良い思い出です。

1日のタイムスケジュール

8：30	出社。
8：40	始業。プロジェクトチーム内での朝会や、メールチェックなど。
9：00	開発作業。プロジェクトメンバーとは随時打ち合わせ。
12：00	昼食。同期のメンバーと雑談をしながらリフレッシュ。
13：00	午後の作業開始。開発メインの時はPCと睨めっこ。
15：00	定期的にお客様とTV会議システムを利用した打ち合わせ。
17：30	終業。納期が近い、仕事が終わらない、そんな時は残業でもう一頑張り。
22：00	退社。

詳細・応募　リクナビ2012へ